

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 2-1-1	事務事業名 低公害者の普及促進(庁用車の低公害車購入)	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 環2-3	施策名 公害対策の推進	施策目標 自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進める。また、市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行う。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単補助額)等	該当する予算事業名・節目を明記する	
	共用車の買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、東京都指定低公害車を購入する。買換えの際は特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としている。 予算費目 2.1.6 庁用車維持管理費 備品購入費		
	事業開始時期	平成14 年度	実施形態

事業費データ	項目		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)				1,445	2,310	6,101
財源 内訳	国庫支出金・都支出金						
	地方債						
	その他 ()						
	一般財源			千円	1,445	2,310	6,101
所要人員(B)			人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)			千円	816	827	817	817
臨時職員等賃金(C')			千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')			千円	2,261	3,137	6,918	4,863
単位当たりコスト (E)=(D)/ (購入台数)			千円	1,131	1,046	1,729	2,431

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	低公害車の購入	実績値	台	2	3	4	2
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年度 既存車老朽化により2台(軽自動車)買換え 平成19年度 既存車老朽化により3台(軽自動車)買換え 平成20年度 既存車老朽化により3台(軽自動車)買換え、法規制による1台(マイクロバス)買換え 平成21年度 既存車老朽化により2台(内1台ハイブリッド車)買換え予定						
成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
一次 低公害車導入率	目標値	%	35.0	50.0	66.7	76.2	
	実績値	%	35.0	50.0	66.7		
二次	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 管財課所有共用車に占める低公害車の割合							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	環境基本計画策定において平成19年度に実施したアンケートでは、地球温暖化対策を優先課題としてあげた市民が7割以上いたことから、地球温暖化防止に対する市民意識の高さが窺える。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	圏域5市における低公害車の導入率を比較すると、小平市に次いで2番目に高い水準となっている。 [19年度末低公害車導入率] 小平市 53%、東村山市 21%、清瀬市 37%、東久留米市 13%、西東京市 50%
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 2-1-1	事務事業名 低公害車の普及促進(庁用車の低公害車購入)	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 環2-3	施策名 公害対策の推進	施策目標 自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の施策として取り上げられているとあり、今後、地球温暖化防止対策として低公害車の導入を進めていくことは市の役割であり、市民の意識高揚の観点から、優先度、必要性は高いと考えられる。 事業実施にあたっては、低公害車普及促進のため、低公害車の目印ステッカーを目立つ場所に貼るなど、啓発活動を進めていく。 軽自動車でのハイブリッド仕様車・電気仕様車の流通が少なくまた高価であるため、財源確保と車種選定の両方が課題である。</p>
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>買換え時期に達した共用車について、新規に購入する場合は、地球温暖化防止の観点から低公害車を購入することは、市として当然の責務である。 現在は、市民への意識啓発についての取り組みがまだなされていないが、今後効果的に進める必要がある。 購入後13年以上経過した車を廃車し、一定条件以上の低公害車の購入をすると受けられる補助金や、緊急経済対策交付金の活用など、財源についても調査研究し、一般財源のみに頼らない購入方法も検討する必要があると思われる。</p>
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地球温暖化対策に関する市民の意識の高揚を図るうえで、公用車買い替えの際に市が率先して低公害車を購入する本事業の必要性は認められる。 今後は、低公害車購入に関する市の取り組みを市民にアピールし、意識啓発につなげていくとともに、特定財源の活用についても調査研究されたい。</p>